

そよげ風

山口市立小郡小学校
No. 29 学校だより
平成24年3月26日

ふるさと小郡・・・「小郡賛歌」の紹介

校長 上田 保 明

このたびふるさと小郡をたたえる詩「小郡賛歌」を、今年度の山口県教育会“金子みずゞ賞”で優秀賞を受賞された本校の保護者でもある熊本和恵さんの『小郡桜』と題する詩を元に、本校職員と6年生とで創り上げました。

小郡賛歌（おごおりさんか）

小郡小学校

ゆうゆうと流れる ふしの川
まちを見守る 禅定寺山（ぜんじょうじさん）
ここが ぼくたち わたしたちのふるさと 小郡

江戸時代 山陽道の宿場町
明治 山陽線の鉄道開通 小郡駅
昭和 高速道路 小郡インターチェンジの完成
平成 小郡駅から新山口駅へ改名
山口県の表玄関 交通の要衝とたたえられた
ここが ぼくたち わたしたちのふるさと 小郡

四季をあらわす ふしの岩戸太鼓
夏 夜空に花咲く ふしの夏祭り
秋 まちをあげての 文化祭
冬 天まで焦がす どんど焼き
春 満開の小郡桜

このまちの発展を ひっそりと力強く見つめてきた 小郡桜
世代を受け継ぎ 誇らしく咲く わけぎ 校庭の若桜
凜々しく たくましく希望を咲かせよと
わたしたちを 見守っている 若木に負けず さげぶんだ

ここが ぼくたち わたしたちを 育ててくれたまち
あたたかいまなざしで 見守っている
やさしいふるさと 小郡よ

ここが ぼくたち わたしたちの 育つまち
大きな広いふところで つつんでくれる
やさしいふるさと 小郡よ

「ふるさと」を誇れる子供を育てなければとの思いを強くして創作しました。先日、“6年生を送る会”で6年生が群読として披露してくれました。堂々たる群読で、その声は体育館中に響き渡り感動的でした。聞いていた5年生の日記には「6年生の群読がすばらしく、あこがれを持った自分たちも来年やりたい」といった記述もあり、受け継いでいく素地はできたようです。小郡で共に過ごした子供たちが「小郡賛歌」を受け継ぎ、ふるさと“小郡”をこよなく愛し、立派に成人した後も“小郡”に貢献できる人となりてほしいと願い、私からのお別れのメッセージとします。3年間お世話になりました。

発起人の私には
子供たちが生ま
れ育つたふる
さとを誇りつ
つてほしいと
願っています
この詩を創
るのときは
復興の興当
りからでる
か辛み続け
ろ抱くこと
したたが
分たの自
ごとの交
流の存在
でした。

創作しました。堂々たる群読で、聞いていた5年生の日記には「6年生の群読がすばらしく、あこがれを持った自分たちも来年やりたい」といった記述もあり、受け継いでいく素地はできたようです。小郡で共に過ごした子供たちが「小郡賛歌」を受け継ぎ、ふるさと“小郡”をこよなく愛し、立派に成人した後も“小郡”に貢献できる人となりてほしいと願い、私からのお別れのメッセージとします。3年間お世話になりました。

おめでとう。そして、ありがとう。6年生の門出。

長いようで短かった小学校6年間の終了。祝卒業！そして新たな出発の瞬間！

6年生を送る会 3月1日(木)



「6年生を送る会」を開催しました。6年生に感謝し、6年生に思い出をつくってもらうことを目的とした会です。各学年からの出し物では、楽しい劇や気持ちの揃った合唱やリコーダー演奏などで卒業を祝福しました。全校合唱では、「歩いていこう」を全員で声高らかに歌い上げました。各学級では何回も何回も練習し、6年生への感謝の心をこの日のために確かめ合ってきました。その後は、全校ゲームとプレゼント渡し。お世話になった6年生に下級生からプレゼントが手渡され、6年生は、とびっきりの笑顔でプレゼントを受け取っていました。

最後の出し物は、6年生による群読と合唱。ふるさとを愛する気持ちの表われた堂々たる群読と心の洗われるような歌声でした。5年生のある児童の日記をご紹介します。「最後に6年生の出し物を見た。やっぱり6年生はレベルが高い。私たちもあんなふうになりたいなあ、と思いました」。心温まる感動のひとつときを得られたことに感謝！！

卒業証書授与式 3月16日(金)



平成23年度卒業証書授与式を実施しました。本年度は山口市長渡辺純忠様を来賓としてお迎えし、NHKテレビによる取材もありました。校長式辞の中では次のような言葉がありました。「1年前、東日本大震災では

かつて経験したことのない大津波に襲われましたが、その後の復興は素晴らしいものがあります。その復興のエネルギーは「ふるさと」を愛する心でした。そこで、本校でもふるさと小郡をたたえる『小郡讃歌』をつくり、先日の6年生を送る会で、6年生が『小郡讃歌』を群読し、紹介してくれました。力のこもった、迫力のある素晴らしい群読でした。これからもふるさと小郡を愛し、ふるさとを大事にする人に育ってほしいです」と。

厳粛さの中に、感動のある素晴らしい卒業証書授与式となりました。卒業生の門出を心から祝福するとともに、心身共に健康で、卒業生全員が、新たな挑戦に向かって、中学校という新しい扉を開いてほしいと、切に願っています。

< 6年生にかかわる他の行事 >

○ 梅の木の植栽作業

3月8日(木)、山口市緑化推進協議会からいただいた緑化樹としての梅の木4本を6年生がプール横に植えました。この梅の木がしっかりと根付き、梅の成長とともに子どもたちも成長し、そして、子どもたちの成長を見守ってくれる存在となることを祈っています。

○ 6年奉仕作業

3月13日(火)、6年生は、お世話になった学校への感謝の心を込めて、校舎内外の奉仕作業を実施しました。体育館体育倉庫や運動場体育倉庫では、体育用具をすべて外に出して、ぞうきんやほうきを使っての清掃。作業終了後は見違えるほどきれいになりました。卒業生の後ろ姿を見て、後輩たちも続いていきます。

文責 教頭 水野 昭